

駒ヶ根民報

No.1408

2018.12.23

日本共産党

駒ヶ根市委員会

Tel 83-2969

12月議会一般質問

竹村ほまれ議員

① 中沢メガソーラー事業は安全・安心が担保された協定に

② 高校生の後押しを

③ 高齢者に思いやりのある施策の充実を

① 中沢メガソーラー 安心を担保した協議か

質問 中沢太陽光発電のメガソーラー事業は、業者と中沢区、駒ヶ根市も立会人になり協議を進めている。立会人である駒ヶ根市は、県や市のガイドラインに沿って安全・安心が担保された協定協議が進められていると理解してよいか。

市長 地域住民の皆さんの同意が得られれば直ちに締結が出来る状況。

あらゆる場面で!?

市長 あらゆる場面において本事業における地元の皆さんの安全安心が確保される様な内容になっている。

3者の進捗状況は

質問 3者による協議だが、現在の進捗状況と今後の見通しは、どの様になっているのか。

市長 「開示することによって公正かつ円滑な遂行の確保が困難になる」と不開示としたが!

円滑な遂行の確保が困難な情報がある

市長 駒ヶ根市情報公開条例に事業の公正かつ円滑な遂行の確保が困難となる恐れのあるものが記載されている時は、当該行政文書を開示しなくても良いとあり、その内容として交渉の方針その他にこれに相当する情報がある。

市民の合意もないのに工事が進められている

質問 協定の締結も、市民の合意も、安全性の担保もされていないもとので、先行工事が大規模に進められているが、現在どの様な合意のもとで工事が進められているのか。経過と今後の説明を求める。

工事の一時中止を要請した! お詫びする

市長 旧ゴルフ場の18のホールの内6つのホールで既にパネル設置が進められている状況が確認された。現状から本工事と言わざるを得ないので工事の一時中止を養成した。市の指導が行き届かなかつた点についてはお詫びを申し上げる。

中沢区に開示を促す指導を求めるが

質問 中沢区に協定の開示請求や合意形成に向けた経過の議事録の開示を求めているが、回答されない。事業者、中沢区に対して協定内容・状況の開示・住民説明を促す指導の考えについて、市の責任ある答弁を求める。

区民に対し開示を控える考えを尊重する

市長 案)の段階の協定書の内容は、例えば区民に対しても開示することは控えたいとする区長の考えを尊重する。



② 高校生徒の後押しを赤穂と駒工の統廃合は

質問 具体的な、当市の高校の統廃合も取りざたされている。市長の胸の思いは。

地域が望み魅力ある編成

市長 地域が望むような人材、また地域が望むような学科編成をする中、子ども達が行きたくなるような学校の施設でない魅力が無いと思う。

定時制給食の改善を

質問 昼間働き、午後10時近くまで在学する定時制の生徒にとって給食は必要不可欠なエネルギー摂取の時間だ。今年度から外注委託の弁当になり品質も落ちたと聞く。実態を調査する上で定時制振興会とも連携して、県に待遇改善を求める考えは。

改善検討する

市長 高校の校長先生は来年度に向けては改善検討すると返事。又、定時制振興会とも連携しながら子どもさんたちとより良い環境になるように考えていきたい。

③ 高齢者に思いやりを

質問 地域のお年寄りや、これからの老後を心配する年代の方々から「高齢化人口が増加しているにも関わらず、高齢者には冷たいね。」という声が聞かれる。高齢者が生き生きと過ごす施策の充実は。

社会参加促進のメニュー化

市長 高齢者の社会参加が促進される様な事業のメニュー化の研究を行う中で、高齢者の皆さんに支援をしていけたら。

CEKの行政チャンネル(1111)で質問の再放送がされるようです。23日(日)午前と午後の天々8時(都合したら是非、視聴下さい)。